

今週のビルマのニュース 2011年1月7日 (1101号)

【政治】

- ・ 63回目の独立記念日だった4日、軍政トップ・タンシュエ上級大将は、ビルマの支配を狙う外国勢力に警戒するよう国民に呼びかけた（4日国営紙）。
- ・ 2010年11月に行われた総選挙結果に基づく議会の招集は、1月中旬から下旬になるとの非公式情報（12月24日イラワディ、6日ミジマほか）。公式発表はまだ。2008年憲法によれば、総選挙から105日以内に連邦議会の第1回通常国会が招集され、そこで大統領が選出される。

【投資・貿易】

- ・ マグウェ管区ガンゴー郡で天然ガス（909bcf）が見つかったと国営紙が発表。中国石油化工（シノペック）が国営石油ガス公社（MOGE）と共同で試掘をしていた（6日ロイター、イラワディ）。
- ・ 国民民主連盟（NLD）は4日、外国投資を受け入れる場合の指針を発表した。社会・環境影響への配慮、労働者の権利の尊重、雇用の創出、最新技術を使った投資、の4つ（5日イラワディ）。

【少数民族】

- ・ カレン州南部やシャン州南部で国軍と、国境警備隊への編入を拒否する少数民族武装勢力との散発的衝突が続く。国軍は当該地域で部隊を増強（6日イラワディ）。アラカン州ではアラカン解放軍（ALA）と国軍とが衝突、双方合わせて5人が死亡との情報（5日DVB）。
- ・ 昨年末に、戦闘を逃れてタイに避難していたカレン難民166人にタイ当局が帰国を強制したことについて、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が懸念を表明（2010年12月28日）。

【政府開発援助（ODA）】

新たな発表はなし

【注目アイテム】

- ・ アウンサンスーチー氏が寄稿する「ビルマからの手紙」の連載（毎日新聞）が1日から13年ぶりに再開。
- ・ 月刊「すばる」2月号にビルマ情報ネットワーク秋元由紀のエッセイ『ビルマの「選挙」とメディアの危うさ』が掲載。
- ・ タイム誌1月10日号がアウンサンスーチー氏を特集。表紙にはプラトン氏撮影の肖像写真も。

【イベント情報】（ [] 内は主催者。共催等は省略）

- ・ [カチン民族機構日本] 第63回カチン州の日記念チャリティーコンサート（豊島公会堂、9日18時半～）
- ・ [上智大学アジア文化研究所 <http://www.info.sophia.ac.jp>] 「旅するアジア」2010年度第6回講演会『「仏教国」ビルマ（ミャンマー）のイスラーム教徒：バマー・ムスリムの現実から』斎藤紋子（上智大学非常勤講師）（上智大学2号館5階510会議室、20日18時～）
- ・ [難民支援協会 <http://www.refugee.or.jp>] シンポジウム『新たな難民受け入れと新宿区～第三国定住開始にあたって私たちにできることを考える』（早稲田大学早稲田キャンパス8号館B102教室、22日14時～）
- ・ [ビルマ市民フォーラム <http://pfb-japan.org>] 第62回例会『タイとラオス、ビルマでのダム開発による被害と地元住民の声』東智美、秋元由紀（メコン・ウォッチ）（池袋・生活産業プラザ7階、29日18時～）
- ・ [アムネスティ・インターナショナル <http://www.amnesty.or.jp>] アムネスティ・フィルム・フェスティバル2011（東京・ヤクルトホール、29・30日）＊29日11時～「ビルマVJ消された革命」上映、16時35分～トークイベント『日本にも難民はいるんですか？』渡邊彰悟（弁護士・全国難民弁護団連絡会事務局長）、マリッパ・センブー（ビルマ難民／カチン民族機構日本事務局長）

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>